

第133回 景気動向調査

本所では、伊丹市内企業の景気動向を把握するため、四半期ごとに標記調査を実施しているが、このほど、第133回調査の結果を取りまとめた。本調査時点は4月上旬、調査対象期間は平成26年1月～3月期、景気動向については「直前期」、経営動向については原則として「前年同期」と比較してもらった。

今回の調査結果（回答46社）によると平成26年1月～3月の景気実績は「上昇」回答21.7%（前回10.3%）、「下降」回答10.9%（前回17.9%）、景気見通しは、「上昇」回答17.4%（前回20.5%）、「下降」回答17.4%（前回15.4%）消費増税の影響は、「あり」39.1%、「なし」60.9%となり、実績はすこし持ち直し、見通しは厳しい状況が続いている。

消費増税の影響は、「なし」が「あり」を上回った。

〔回答企業の業種別分布〕

業種 項目	対象数 (社)	回答数 (社)	回答率 (%)	構成比 (%)
一般工業	60	24	40.0	52.2
食料品工業	15	4	26.6	8.7
商業	30	5	16.6	10.9
建設業	20	4	20.0	17.2
運輸業	10	5	50.0	10.9
サービス業	15	4	26.6	8.7
全業種	150	46	30.6	100.0

〔消費税増税の影響〕

	あり		なし	
	割合	社数	割合	社数
一般工業	33.3	(一)	66.7	(一)
食料品工業	75.0	(一)	25.0	(一)
商業	40.0	(一)	60.0	(一)
建設業	75.0	(一)	25.0	(一)
運輸業	40.0	(一)	60.0	(一)
サービス業	0.0	(一)	100.0	(一)
全業種	39.1	(一)	60.9	(一)

※（ ）の数字は前回調査結果分です。

〔景気動向について〕

業界の景気

	上昇	横ばい	下降
一般工業	16.7(4.5)	66.7(63.6)	16.7(31.8)
食料品工業	25.0(50.0)	75.0(50.0)	0.0(0.0)
商業	20.0(0.0)	60.0(100.0)	20.0(0.0)
建設業	25.0(16.7)	75.0(83.3)	0.0(0.0)
運輸業	40.0(0.0)	60.0(100.0)	0.0(0.0)
サービス業	25.0(0.0)	75.0(100.0)	0.0(0.0)
全業種	21.7(10.3)	67.4(71.8)	10.9(17.9)

今後の景気の見通し

	上昇	横ばい	下降
一般工業	20.8(13.6)	62.5(72.7)	16.7(13.6)
食料品工業	0.0(50.0)	75.0(50.0)	25.0(0.0)
商業	20.0(50.0)	60.0(50.0)	20.0(0.0)
建設業	25.0(33.3)	50.0(66.7)	25.0(0.0)
運輸業	0.0(0.0)	80.0(50.0)	20.0(50.0)
サービス業	25.0(0.0)	75.0(0.0)	0.0(100.0)
全業種	21.7(20.5)	65.2(64.1)	17.4(15.4)

※（ ）内の数字は前回調査結果分です。

〔産業別業況DI値〕

	業況	売上	採算	仕入単価	従業員
一般工業	▲4.2	8.3	▲25.0	▲54.2	▲4.2
食料品工業	0.0	25.0	0.0	▲50.0	25.0
商業	20.0	20.0	40.0	▲60.0	0.0
建設業	▲25.0	0.0	0.0	▲50.0	25.0
運輸業	▲60.0	40.0	▲80.0	▲100.0	20.0
サービス業	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0
全業種	▲6.5	17.4	▲15.2	▲54.3	6.5

(注) DI = (増加、好転などの回答割合) - (減少、悪化などの回答割合)
業況、採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少)